

福島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	国語	
科目基礎情報							
科目番号	0020			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	機械システム工学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	3		
教科書/教材	『改訂版国語総合・現代文編』『改訂版国語総合・古文編』『改訂版国語総合・現代文編準拠ワーク』『改訂版国語総合・古文編準拠ワーク』（数研出版）『常用漢字の級別学習ベーシック』（京都書房）、後期から『改訂版現代文B』『改訂版現代文B編準拠ワーク』（数研出版）						
担当教員	高橋 宏宣						
到達目標							
①現代文においては、作品のテーマや作者の主張を理解できるようにする。 ②古文・漢文においては、基本的な語彙や正確な文法の知識を身につけ、作品の大意を把握できるようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
現代文	文章の内容を正確に理解することができる。			文章の内容を理解することができる。		文章の内容を理解することができない。	
古文	古文の内容を理解し、現代語訳することができる。			古文の内容を理解することができる。		古文の内容を理解することができない。	
漢文	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。			漢文を書き下し文に直すことができる。		漢文を書き下し文に直すことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A)							
教育方法等							
概要	近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。						
授業の進め方・方法	中間試験、期末試験ともに50分の試験を実施する。 定期試験の成績を60%、課題10%、小テスト・平素の成績を30%として評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	・不明な語句がある場合は、辞書を引いて調べる習慣を身につけること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	現代文：「間」の感覚	筆者の言う「間」とは何を指すか理解できる。			
		2週	現代文：「間」の感覚	筆者の言う「間」とは何を指すか理解できる。			
		3週	現代文：添削の思想	近代芸術における作者と本文について理解できる。			
		4週	現代文：添削の思想	「推敲」と「添削」のちがいが理解できる。			
		5週	古文：伊勢物語（筒井筒）	古文を現代語訳することができる。			
		6週	古文：伊勢物語（筒井筒）	古文を現代語訳することができる。			
		7週	現代文：動的平衡の回復	「動的平衡」とは何か理解できる。			
		8週	現代文：動的平衡の回復	環境に対する人間の態度について筆者の考えを理解できる。			
	2ndQ	9週	現代文：他者を理解するということ	「他者」とは自分にとってどんな存在か理解できる。			
		10週	漢文：絶句・律詩	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。			
		11週	漢文：絶句・律詩	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。			
		12週	漢文：絶句・律詩	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。			
		13週	小論文の書き方（1）	小論文の書き方、参考文献の引用の仕方について理解することができる。			
		14週	小論文の書き方（2） 前期の復習	小論文の書き方、参考文献の引用の仕方について理解することができる。 現代文の要点、古文と漢文の文法について復習できる。			
		15週	期末試験の返却	理解の不十分な点に気づくことができる。			
		16週					
後期	3rdQ	1週	現代文：手の変幻	筆者の考える美しさというものについて理解することができる。			
		2週	現代文：山月記	李徴の苦しみを理解することができる。			
		3週	現代文：山月記	李徴の苦しみを理解することができる。			
		4週	現代文：山月記	李徴がなぜ虎になったか理解することができる。			
		5週	古文：平家物語（祇園精舎）	古文を現代語訳することができる。			
		6週	古文：平家物語（木曽の最期）	古文を現代語訳することができる。			
		7週	古文：平家物語（木曽の最期）	古文を現代語訳することができる。			
		8週	現代文：胆力について	胆力があるとはどういうことか理解できる。			
	4thQ	9週	現代文：「内的成長」社会へ	「中間社会」の崩壊について理解できる。			

		10週	現代文：「内的成長」社会へ	筆者の言う「内的成長」社会とはどのようなものか理解できる。
		11週	漢文：論語	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。
		12週	漢文：論語	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。
		13週	漢文：論語	漢文を書き下し文に直し、現代語訳することができる。
		14週	総復習	現代文の要点、古文と漢文の文法について復習できる。
		15週	期末試験の返却	理解の不十分な点に気づくことができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	

評価割合

	定期試験	課題	小テスト等	合計
総合評価割合	60	10	30	100
基礎的能力	40	0	30	70
応用力	20	10	0	30